



左から 海津正裕さん、波多野町長、足立来未さん、吉崎朱音さん

第1回ジュニア防災検定 芦屋町から3人の中学生が 事後課題で優秀賞を受賞

優秀賞をいただきました

8月12日、足立来未さん、吉崎朱音さん（芦屋中学校2年）、海津正裕さん（芦屋中学校3年）が、第1回ジュニア防災検定合格と、事後課題での優秀賞を受賞を波多野町長に報告しました。

ジュニア防災検定

平成25年9月、芦屋町商工会工業部会が、芦屋町と「災害時における応急復旧業務の応援に関する協定」を締結したのを契機に、子どもたちにも「防災力」を身につけてもらおうと、ジュニア防災検定（一般財団法人防災検定協会主催）受験の後押しをしました。

この検定は、事前課題、試験、事後課題まで3つのステップで構成され、3人はすべてのステップをみごとにやり直し、今回の受賞となりました。

事後課題で優秀賞

足立さんと吉崎さんが受賞した壁新聞「防災についてのレポート」は、芦屋町に一番可能性が高い災害を想定し、現在のハザードマップを検証。平成24年の九州北部豪雨水害以前のものがだったので、遠賀川が氾濫した際の被害は、想定範囲を超えると判断し、危険区域

警戒区域など、自分たちで考えた新しいハザードマップを作成しました。

海津さんは、「災害は忘れたころにやってくる」という標語をヒントに「我が家の防災カレンダー」を作成しました。東日本大震災の教訓が、のどもと過ぎて忘れられないように防災標語を日めくりにしました。

リーダーらんでいあキッズ

今回受賞した3人は、平成24年度にスタートした、ボランティア活動センターが運営するリーダーらんでいあキッズにも所属し、昨年は、九州北部豪雨で被災した八女市で災害復旧の手伝いをしたり、今年も、町内の海抜表示をだれにでもわかりやすくするためのデザインを考えたりと活動中です。

芦屋町の未来を創る一人として、これからも活躍ください。



ハザードマップ作成中



複数の機種が混在する滑走路



基地内練兵場に集合した米軍隊員

ふるさと再発見

芦屋歴史紀行

その二百二十
朝鮮戦争の終結と
米軍芦屋基地の終焉

マッカーサー元帥の解任と
休戦協定

1951年1月25日、芦屋基地の航空輸送総司令官ターナー中将は、航空輸送を強化するため、総司令部の編成替えを行い、第315航空輸送師団とともに、その司令部を東京の府中に移転しました。

2月23日から28日の間、新

たに315師団の指示系統に入った314輸送隊のC119は、延べ256機を動員して1358トンの物資を空輸しました。

3月7日に韓半島の京城（けいしやう）東から包囲する「リッパ作戦」を発動し、3月14日にはついに国連軍は京城を奪回。さらに、3月23日、その北方のムンサンに空挺攻撃を行いました。

芦屋から発進したC119の72機は2000人の空挺隊員を降下させ、200トンの物資を投下しました。また48機のC48は1400人の空挺隊員を降下させました。

4月にマッカーサー元帥が極東軍と国連軍最高司令官を解任されました。世界中がこの解任劇を注目するなか、中国軍は4月、5月と大攻勢をかけました。なかでも4月は33万人の大規模なものでした。

しかし、国連軍は空軍の総力を挙げた支援に後押しされ、逆に中国軍に大打撃を与えました。この間315師団は連日1000トン以上の空輸を続けました。6月の地上戦闘での国連軍勝利で、ほぼ大規模戦闘は終わりを告げ、1953年7



着陸態勢のC119

米軍芦屋基地の終焉

月27日、国境線上の板門店（はんもんてん）で休戦協定調印がなされました。

芦屋基地も315師団司令部が府中に移り、また巨人機（きょりき）のグロップマスターC124が東京の立川に配備され、実戦に投入されると、朝鮮空輸の主役の位置を立川に渡すこととなりました。

1960年3月に基地撤退計画が正式に発表されました。そこで、芦屋に残っていた飛行隊も立川と沖繩へ移駐し、12月、米軍は芦屋基地から撤退しました。そして、1961年2月から航空自衛隊芦屋基地が開設されました。

（文・芦屋歴史の里）

編集後記

▼本当なら、8月の青い空が心をウキウキさせてくれるはずでしたが、今年は台風や雨の日々。全国各地で土砂災害が発生し、悲しいニュースが流れました。今号の表紙に登場する子どもたちは、過去の災害を調べ、今の生活にあった自然災害の被害を最小限にするための対策を真剣に考えていました。TVで、高齢の人が「今までこんな豪雨は経験したことがないから」と答える姿とつい比較を。年齢に関係なく、はじめての災害に備えることは本当に大切です。後回しにしないで、子どもたちを見習いたいと思いませんか？

（観守）

▼ブルーインパルスの元隊員の講演会後、「自分はパイロットになりたい。パイロットになるうえで必要なものを三つ教えてください」との質問が出た。①そのなりたい気持ちをあきらめずに、ずっと持ち続けること。②素直さ（受け止める勇氣、③健康よく食べ、よく寝ること）と答えられていたが、人生にも同じことが言えそう。この回答が私にはものすごくしっくりきた。先日テレビで懐かしく見た、母校の英彦山合宿で、「あきらめんな」「聞きよんか」「はよ寝れ」と何度となく言われたからでしょうか。（福田）

この広報は、再生紙を使用しています。